

令和元年5月16日(木) 19:00~20:30

会場 : 御前崎市役所301・302会議室

1, あいさつ (河原崎全教育長)

今年度の重点目標の確認

子どもたちの生活習慣の確立のために、昨年度は、「早寝・早起き・朝ごはん」の推進に取り組み、今年度は、「ゲーム障害・ネット依存防止」に取り組みます。

皆さんの新たなアイデアを広めていきたい。

2, 会長選出 (学校教育課長)

浜岡中学校区会長・・・浜岡中学校PTA会長 清水昇三さん

御前崎中学校区会長・・・御前崎中学校PTA会長 矢野三成さん

3, 会長・副会長あいさつ

御前崎中学校区会長 浜岡中学校区会長

4, 学校教育課 より

(1) 各園・学校の重点目標の確認

全国でコミュニティ化を進めている。本市は、H27年度から取り組んでいる。

各校・園の重点目標の承認について

PTA総会や保護者会総会で承認されているので、この場では確認をもって承認とさせていただく。

(2) 昨年度のスラムスクール運営協議会の取り組み

地域のコミュニティの希薄化。対人関係に悩む人がいる。小一プロブレム問題。御前崎市の不登校の子の数が県より若干多い等の実態がある。このような課題解決のためには、学校・園・家庭・地域全体で取り組む必要がある。途切れない教育を進めていきたい。園・学校は、スクラムスクールプランを進めている。

SS 運営協議会・・・園・学校・家庭・地域とのつながりを目指している。

御前崎市・地頭方地区の方々が参加。SS 運営協議会で決めたことを地域・家庭にかえしていく。

・スクラムグッドマナー運動

子どもたちの「あいさつで地域を元気に」「自分たちの手で明るくしていきたい」という思いから始まった。大人も盛り上げていこう。今では、企業の人達も参加してくれている。ポスターを配ってくれたりもしている。

社会教育課が、スクラムTシャツを作成。主旨に賛同してくれている市民の方達が購入してくれている。(現在840枚)

・スクラムカレンダー

御前崎市の全地区・地頭方地区で発行。各校区特色あるカレンダーに進化している。

・朝ごはん調査

H30年度『早寝・早起き・朝ごはん』への取り組みをした。

・学校支援地域本部事業・両中学校におけるキャリア教育

学校地域支援・・・ボランティアがのべ4074人参加してくれた。

CSディレクター・・・スクラムスクール運営協議会の準備・両中学校におけるキャリア教育支援等

をしている。

・インターネットアンケート・スマホについて

平成31年2月に、市内小中学生対象におこなったアンケート結果についての資料や
東北大学 川島隆太先生の資料を元に説明。

(3) 本年度の取り組みについての提案

ア 早寝・早起き・朝ごはんの推奨 アンケート実施と大産業祭で宣伝

イ ゲーム障害・ネット依存から子どもを守る取り組み

・P T Aのルール作り（運営協議会として・各園校として・中学校区として）

・児童生徒のルール作り（各校または中学校区）

・講演会の実施（スクラムスクール運営協議会主催で、11月17日の未来を紡ぐ集いの日を予定）

5, 協議

(1) 本年度の取り組みの提案について

〈第一小学校区〉

現状・影響を知り、大人達が危機感をもつこと。（資料配布・講演会等で）

大人が使い方を知り、大人が伝える。

合言葉的なルールを決める。児童・生徒のルール作り・・・子ども達も自分で意識をもてるように考え合う。大人の意識改革が大切。各家庭でのルール作り。親子で納得するルール作り。禁止ではなく、できたことを褒める。

〈中学校区・高校〉

P T Aのルールを作ることについて

『どういう事が課題か』について、まず、大人が理解を深める。ルール作りは大切だが、まだ早い。何を守らなくてはいけないかを共有することが大事ではないか。根本的に、良好な親子関係の構築がポイントではないか。

〈白羽小学校区〉

講演会は、実施した方がいい。

ルール作り・・・まずは、親に現状を知ってもらうこと・危機感をもつことが大事。

親に知らせる時は、文字ではなく、グラフの方が良いのでは・・・。合意作り→ルール作り。

〈御前崎小学校区〉

スクラムスクール運営協議会の取り組みを知ってもらうことが課題。

将来的にタブレットの使い方に慣れている方がよいのでは・・・。

各家庭でしっかり作ればいいのではないか。

親が強制できなくなる時期で問われるのは、判断力。危険性を子どもが知ることが大事。

子ども達に『ネット依存の危険性について』の教育をしていくことが必要ではないか。

〈地頭方小学校区〉

ゲームを子どもだけでなく、親も祖父母も夢中になっているという家庭がある。

ルール作り・・・親の考え方が様々なので、統一をするのは難しい。基本的生活習慣づくりが大事。

ネット・スマホの怖さを知らせるための講演会を設ける。

親だけでなく、子どもの意見を聞くことも大切ではないか。

〈浜岡北小学校区〉

今の時代、親は、スマホがないと困る。

子どもにルールを作るより、まず親のルール作り。次が、家庭のルール作り。

親の意識改革が大事。親ができること・・・宿題をやっていることを褒める・子どもが好きなこと・興

味があることに親がつきあう事等が大切。スマホの上手な使い方を知らせる事も大事。

〈浜岡東小学校区〉

大人の意識を変える。ルールの必要性を高めることが大事。ルール作りは、急がなくてもいいのでは・・・。

意識を変えるためのルールはあってもいいのではないかな。

講演会を市P連でやれば、意識が高まるのではないかな。

(2) 質疑応答

6, 指導・助言 静岡大学 中村先生

ゲーム依存・ネット依存と本日のスクラムスクール運営協議会の話し合いの内容とは、ちょっと違う。

ゲーム障害は、病気。治療が必要。

時間が無くなっている今、何かを失っているのではないかな。何を失っているのだろうか。

子育ての中で、子どもにスマホを渡すと子どもが静かになるという話がある。

スマホが無かったなら、どうやっていたか？そんな時は、きっと、子どもに「人に迷惑をかけているよ」と言葉をかけていたのではないかな。スマホで、やりとりの時間を失っている。親子のコミュニケーションを失っている。

東北大学の川島先生のいう『リスク』もあるかも知れないが、今は、スマホは必要な物になっている。

そもそも、スクールの意味は？・・・ギリシャ語では、『暇』という意味だった。好奇心をもった人が集まってコミュニケーションをとりながら、少ない時間で知的好奇心を満足させる場だった。

学力の高い子・・・好奇心の高い子。知りたいことに本気で取り組み、知的好奇心を高めている。スマホを積極的に使っている。(反対に、スマホに使われている人もいる。)

親に危機感を。何を失っているのか。大きなものを失っているのかも知れない。人生の豊かさを失っているのかも知れない。